

おいしくて形の良いダイコン作りのポイント

ダイコンは、強大な根を速いスピードで地中に形成するので、根形や品質が土壌や肥料栄養の影響を受けやすい性質を持っています。

そのためには、次のポイントを押さえて育てることが大切です。

①畑の準備と元肥の施し方

少なくとも種まきの20日以上前に畑全面に石灰をまき、石ころや木切れなどを取り除きながら30cm以上の深さによく耕します。吸肥力は強い方なので、前作に堆肥が施してあれば、特に堆肥を与える必要はありません。

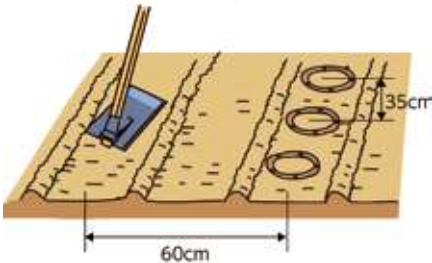
痩せ地で有機物不足が心配なら、完熟堆肥と有機配合肥料をよく混ぜ合わせ、事前に醗酵させた物を、株と株の間に当たる所に施し、根の伸びを妨げないようにします。

②まきどきを守る

早まきし過ぎると病害虫の被害を受けやすく、遅過ぎると根の肥大不足になります。関東南部以西の温暖な平たん地のまきどきは8月中旬〜9月中旬です。品種による違いもあるので、種子を求めるときに適期を確か

種まきは円形の印を付けて

直径5〜6cm



大型品種は株間を大きく



追肥
第1回は株の周囲に
第2回以降は列の片側ずつに



め、適期範囲のやや遅めにまき、管理を怠らぬように成長を促進するように心掛けましょう。

③間引きと追肥、入念な土寄せ

種子は1カ所5〜6粒を、瓶などで円状に付けた溝にまきます。発芽して本葉1枚の頃から8〜9枚の頃にかけて3回ほど間引き1本立てにします。間引く際には、子葉がハート形で素直に開いている株を残すようにします。異常に育ちの早い株や、形が非対称の株は、岐根や短形になる場合があるので残さないよう注意しましょう。

間引いたら株の周りに土を寄せ、風で振り回されないように保護し立ち上がらせます。追肥は第2回の間引き時から半月ごとに3回ほど与え、土を掛けて畝を作ります。肥料

は化成肥料と油かすに加え、米ぬかを混ぜると食味が良くなります。

④害虫の予防、駆除を怠りなく

アブラナ科野菜の常として各種の害虫（シンクイムシ、コナガ、アブラムシ、ハスモンヨトウなど）の被害が出やすいので、早めに発見、適応農薬を散布して防ぎます。

農薬に頼らない防除法としてはソルゴーを何列か置きに作り障壁にすること、防虫ネットやべた掛け資材の被覆などがあります。被覆は種まき後3週間以内ぐらいいにしないと生育に支障を来すので、除覆する時期に注意してください。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

野菜づくり

Q & A



Q 私は夏野菜を毎年少しずつやってますがナスが無事に育ったことがありません。石灰・牛ふん・鶏ふん・肥料をやって掘り起こして植えたのですがキュウリ・トウガラシ等は順調に育っているのにナスだけしな垂れてしまいました。何が原因でしょうか。(6月号お便り)

A 原因／水切れが原因ではなく、突然全体や片側半分が萎れたようになった後、枯れてしまう場合は病気(青枯れ病・半身萎凋病)にかかっている可能性が高いです。対策は連作をしないこと。接木の苗を使うことを励行してください。また、一緒に植えると育ちが悪くなる野菜の相性があります。ナスはトマトや唐辛子と相性が悪く、トマトは唐辛子と相性が良いです。

●前作と後作 野菜の相性

相性の良い○ 後作の野菜	前作の野菜	相性の悪い× 後作の野菜
キャベツ・ブロッコリー・ネギ	トマト (ナス科)	ナス・キュウリ・ピーマン・ジャガイモ
カボチャ・枝豆・トウモロコシ	ナス (ナス科)	トマト・ピーマン・ジャガイモ・唐辛子
トウモロコシ・玉ねぎ・ほうれん草	キュウリ (ウリ科)	大根・カボチャ・ニンジン
エンドウ・枝豆・わけぎ・ネギ	大根 (アブラナ科)	ニンジン・スイカ・キュウリ・ゴボウ
トマト・キャベツ・大根・スイカ	玉ねぎ (ユリ科)	ネギ・わけぎ・エンドウ
白菜・玉ねぎ・キャベツ	ニンジン (セリ科)	トマト・キュウリ
トマト・白菜・ブロッコリー・エンドウ	トウモロコシ (イネ科)	ニンジン・大根